あいめーる

SUMMER

アクティビティ特集 愛隣館通信

平成 25 年 7 月 15 日発行
発行
社会福祉法人　愛隣園
障害者支援施設　愛隣館
発行責任者　三浦貴子
編集　広報チーム
　　　キャリービジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL　0968-43-2771
FAX　0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp

（ 写真上・愛隣館食堂於 ）

目次

震災支援リレーメッセージ　……………… 1
山鹿灯籠祭と愛隣館、今夏燈心会の誕生　2
ヒューマンライツ委員会　………………… 2
福祉サービス第三者評価を受審して　…… 2
第一回三岳地域徘徊者捜索声かけ模擬訓練　3
第十二回くまもと障がい者スポーツ大会　3
ぴあワーク職場実習　……………………… 3
日中活動（アクティビティ特集）　……　4・5
新しい仲間　………………………………… 6
新人職員紹介　……………………………… 6
クローズアップ愛隣館⑥　………………… 7
家族の声⑦　………………………………… 7
震災復興支援シャツ等協力事業　………… 8
山鹿コールエイト熊日緑のリボン賞を受賞　8
田中鉄也写真展のお知らせ　……………… 8
編集後記　…………………………………… 8

震災支援リレーメッセージ

五月二十二日（水）鹿児島県太陽の里療護園より、副施設長瀬戸山様、サービス管理責任者有村様がお見えになりました。

目的は、七月四日（木）、五日（金）に鹿児島で開催された第三十七回全国身体障害者施設協議会研究大会準備のため。本大会アトラクションで、サプライズとして流される、東北へのリレーメッセージの作成に向けて撮影が行われました。

この日のために、嵐の『ふるさと』を音楽クラブで練習し、館内放送で流すなどしてまいりました。

東北に思いを寄せ、利用者・職員一同が『ふるさと』を、大合唱しました。

今回使用された楽曲は、音楽番組『歌でつなごう〜被災者のみなさんへ〜』においても使用されました。

山鹿灯籠祭と愛隣館 今夏「燈心会」の誕生

館長　三浦　貴子

私たちの地域、山鹿市。この街みんなの晴れの日が、八月十五日・十六日に開催され、多くの観光客でにぎわう山鹿灯籠祭。施設の開設から二十六年間、欠かさず利用者の方々も参加しています。

今は亡き女性のご利用者は「愛隣館に入ったら山鹿灯籠が見れるかしら」と入居前から楽しみに。

その人を愛し、遠くから入居された男性の方は「逢うは別れ、山鹿灯籠揺れにけり」という句を残して、六年前、思い出と共に。

十四年前には、青年会議所（ＪＣ）の仲間たちが賛同してくれて推進した祭りのバリアフリー。さじき席の車イス席、仮設の身障トイレ、大宮神社内のアクセスの確保。そして何よりも、人で混み合う夜祭りに、ご高齢の方々、障害のある方々を歓迎するおもてなしの心を多くの方々が持って下さり、参加しやすい雰囲気が生まれました。

今年の春先から、ひとまわり年下世代のＪＣ現役達が何度も訪ねてきて、伝統行事上がり灯籠（宮造り灯籠を神輿にかついで奉納する）の後の直会（なおらい－神様とお酒を酌み交わすこと）に、障害のある方々にも参加して頂きたいとのご案内。最終的にはみんなの願いだったとの要請で、初の女性上がり灯籠奉納団体「山鹿燈心会」を創立する運びとなりました。

八月十六日二十二時頃、市営温泉さくら湯前から山鹿大宮神社へ上がります。突然のご案内ですが、お待ち致しております。

ヒューマンライツ委員会

生活サービス部
サービス管理責任者　中村　武光

ヒューマンライツ委員会は、生活サービス部と地域福祉部の各部から構成され、全体委員会での取り組みがあります。

今回は、生活サービス部で取り組んでいる内容と課題をお知らせ致します。

二ヶ月毎に行われる活動は、主に生活介護の現場で起きている事例を取り上げ、未然に虐待を防いでいく事を目的に活動しています。

いろんな角度からスタッフは虐待防止を意識し、「虐待をしない」「虐待をさせない」「虐待を見逃さない」を柱に、委員会メンバーで勉強会を重ね、全生活支援員に周知します。虐待の発見や本人の申し出があり風通しの良い環境を作り上げていく事も大切であると考えています。

虐待防止のチェックや利用者生活満足調査、スタッフの執務意識調査等を並行して行い、虐待防止の意識を継続していく事が大切な課題です。

福祉サービス第三者評価を受審して

生活サービス部
サービス管理責任者　田中　裕一

施設開設から二十五年の節目を迎え、生活サービス部（入居部門）が第三者評価を受審しました。受審にあたっては平成二十四年六月より十ヶ月にわたり準備を進めてきました。

今回、第三者評価を受審したことで、現状のサービス状況の確認ができ、当施設の課題が明らかになった事で、新たな目標も見えてきました。今後さらに福祉サービスの向上を目指して頑張って行きたいと思います。

第三者評価のデータは、左記の熊本県ホームページよりご覧いただけます。

http://www.pref.kumamoto.jp/

熊本県ホームページ→健康・福祉→福祉全般→（第三者評価）熊本県福祉サービス第三者評価→（第三者評価）（１）障害福祉分野→愛隣館

第一回三岳地域徘徊者捜索声かけ模擬訓練

五月十一日（土）三岳地区公民館で、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために」をスローガンに、徘徊者捜索声かけ訓練が行われました。

三岳校区区長会、三岳校区社会福祉協議会、三岳地区公民館の主催による同訓練には、三岳地区住民の皆さんと、愛隣の家・愛隣館職員を含む、六十余名程が参加しました。

訓練に先立ち、山下様（山鹿市地域包括支援センター）と、宮島様（特別養護老人ホーム愛隣の家）により、認知症の方への声かけについてミニ講座が開かれました。

訓練では、認知症（徘徊役）の方が、早朝より自宅から居なくなったとの想定で、津留地区（今寺・仲間・中津留・小鳥町）周辺を歩き回られました。

目印（特徴）の戴帽と、黄色い傘を携えた七名の徘徊者役の方を①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけないの三つの心得に沿って、捜索、声かけの訓練が一時間あまり行われました。

第十二回くまもと障がい者スポーツ大会

五月十九日（日）「うまかな・よかなスタジアム」（県民総合運動公園陸上競技場）にて、第十二回くまもと障がい者スポーツ大会が開催され、愛隣館からは、入居者や愛隣倶楽部、デイケアの利用者、職員、ボランティアスタッフ総勢八十人で参加しました。

当日は、小雨の降る中、障がいの種類や程度、年齢ごとに分かれ、一五〇〇ｍ走、車椅子五〇ｍ走、自走・電動スラローム、ソフトボール投げなどの投てき競技に出場。競技を楽しみながらも自己記録に挑戦する姿がありました。

尚、ソフトボール投げに出場したデイケアの伊藤登美代さん、坂田照美さんは、各障害区分で大会記録を更新しました。

また、坂田さんは十月十二日（土）～十四日（月）、東京で開催される、第十三回全国障害者スポーツ大会の熊本県代表に選ばれました。

更なる記録の更新と、沢山の出会いを楽しんで来て下さい。

ぴあワーク職場実習

就労移行支援事業所「ぴあワーク」の取り組み

ぴあワークでは、利用開始後、三ヶ月から九ヶ月間は事業所内での作業訓練やコミュニケーション訓練等を行い、その後は、訓練の成果の確認や実践を目的として、実際の事業所において職場実習を行っています。

Q　職場実習をしてみて良かったことは？

Tさん　色々な業種を体験することで、自分に向いている業種を選ぶための参考になった。

Q　職場実習で確認できる成果はどんなこと？

Aさん　「働く」ことの大切さや厳しさを、実際に実習をしてみて再確認できたように思います。

Tさん　実際の職場で働いてみて、自分の苦手とするコミュニケーションが少しずつですができるようになった気がします。

実習先で陳列商品を整理するAさん

苗ポットの整理をするTさん

日中活動特集

日中活動（アクティビティ）

愛隣館では、施設で自立した生活ができるよう、利用者の意向や尊厳を尊重し、個別支援計画に基づいて、創作活動の機会等のサービスを提供しています。

自立促進・生活の質の向上を目的とし、ボランティアや地域の方々との交流や社会参加を推進、生き生きと明るく楽しい生活ができるよう支援しています。

ひとりで買い物

ひと月に二回ほど、入居者が購入希望の日用品を職員が代行して、買い物をするというサービスが行われています。

ひとりで買い物は、代行に使用する車に同乗するという形で行われ、介助は一切つきません。

購入から精算まで、すべて利用者自身が行うことで、自立心や社会性を養います。

個人の希望叶えます

お見舞いやお墓参りなど、個人的な希望や活動を支援する日中活動です。

個人の希望に沿って、ショッピングや映画館へ行ったりする等、マンツーマンの支援を行います。

以前、通っていたラーメン屋さんを訪れたり、昔の友人を訪ねたりと、より身近な個人の思いや希望が活動に反映されます。

音楽クラブ

愛隣館設立当初から二十年以上に渡り、活動しています。発表会や音楽祭に参加するなど、活動も幅広いものがあります。

家族や講師をはじめ、山鹿コールエイトなどの地域ボランティアの協力に支えられ、活動に参加する事で、音楽を通して他の施設との交流や、社会参加に繋がっています。

スポーツ教室

スポーツ教室では、「ボウリング」「輪投げ」「ボッチャ」等、重度の障がいを持った方でも、参加できるように、多数の種目を取り入れています。

利用者に人気の卓球バレーは、バレーボールのルールをヒントに卓球台を使って行うものです。

チームワークを必要とする誰もが楽しめるスポーツです。

館内ショッピング

愛隣館食堂内では、出張販売（Aコープ山鹿本店）が行われています。

販売時には、館内の入居者はもとより、周辺の施設や通所の利用者で賑います。頻繁に買い物をする機会の少ない利用者にとって、楽しみであると同時に、商品の選択から購入に到るまで、社会生活を体験する貴重な場ともなっています。

ヨーガ

山鹿市在住のヨーガインストラクターを講師に迎えて、ヨーガ教室が行われます。

こころとからだを解す笑いヨーガからはじまり、色々なポーズをゆっくりと行うことで、呼吸が整い余計な力が抜け、リラックスします。

また、外部講師との関わりにより、社会性が身につき、QOLの向上につながっています。

パステルアート

パステルアートは、型紙を使い、パステルの粉を指やコットンにつけて描いていきます。

型紙を自分の好きな場所に置き、好みの色を使うことで、どれ一つ同じものはない、個性豊かな作品ができあがります。参加者の皆さんは、手軽に描けるパステルアートを毎回楽しみにしています。

秋には、地域で作品展の予定です。

風船バレーボール・オセロ

毎年、五月には風船バレーボール大会、六月にはオセロ大会と、熊本県内にある障害者支援施設の利用者が集い、親善を目的とした対抗戦が開催されています。

この時期になると、風船バレーボールの練習やオセロの予選会で、食堂や集会室は大勢の利用者で賑やかになります。

パソコン教室

パソコン教室では、パソコンをこれから始めたい、覚えたい等、初心者の方でも、出来るプログラムで、利用者の声も積極的に取り入れています。

パソコンの基本操作方法に始まり、文書入力、年賀状や住所録作成。利用者の要望の多い、インターネット等も取り入れて行っています。

ピアカウンセリング

ピアカウンセリングの「ピア」とは、仲間という意味で、障がいを持つ仲間同士で時間を決めて話し合うことです。

カウンセラー（聞く方）とクライエント（話す方）の役割を互いに交代しながら行うセッションと、参加者全員で話を聞きあうグループワークから構成されています。

新しい仲間

入居者　村田　昌子

「嵐の大ファンです」

私は菊池から来ました村田昌子といいます。四月十五日から、一号館四人部屋でお世話になってます。嵐の大ファンで、特に大野くんが大好きです。それと、毎日の英会話もラジオで十五分程聞いて勉強しています。今まで在宅で暮らしていたので愛隣館はにぎやかでとても楽しいです。

館の生活に慣れて、いろんな行事に参加し、たくさんの入居者の方と友達になり、楽しく生活して行きたいと思っています。

よろしくお願いします。

愛隣倶楽部　山田　脩平

僕の名前は山田脩平です。以前、何度か黒石原支援学校のインターンシップで愛隣倶楽部を見学する事が出来、先輩方の楽しそうな活動や職員の方々の優しさに触れ、早くここに来たい気持ちで一杯でした。

平成七年一月、菊池市で写真館の一人息子として生まれ、満十八歳になりました。

CDラジカセで音楽を聴くことが大好きで、ジャンルは特に無く適当です。意思の疎通は文字盤で簡単なことは行えます。多少我がままで頑固な所も有りますが、これからも愛隣倶楽部の一員として、皆様よろしくお願いいたします。

（代筆者：父）

愛隣倶楽部　米井　健

はじめまして。今年の二月より愛隣倶楽部にお世話になっている米井健（つよし）です。四月に誕生日を迎えて二十三歳になります。利用当初は、不安な気持ちで一杯でしたが、利用者の吉本さんに優しく声をかけていただき、午前中からオセロを楽しんでます。皆さんとても親切で、随分慣れてきましたが、まだ、体調が万全ではなく、この頃では好きなオセロもあまりできない状態です。

現在は週二回（火・木）の利用ですが、ヨガや音楽のある曜日にも利用できればと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

新人職員紹介

デイケア部　桐谷　清

昨年十二月に三十五年余り勤めた陸上自衛隊を定年退職し、一月七日より、愛隣館デイケアで勤務させて頂いている桐谷清と申します。

感性豊かな利用者の皆様と時間を共有できることに日々充実感を覚えております。また、経験と自信に裏付けされた先輩職員の方々の所作、特に利用者の皆様の次の行動・気持ちを読み取っての対応、入浴援助等における効率的な時間管理に「いつかは自分も・・」と思いを巡らせる毎日が続いております。

不規則だった前職から一転、規則正しい生活が送れる喜びに感謝し、愛隣館の一員として戦力発揮できるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

事務・総務部　納富　久

「本年度よりお世話になります。のうどみです」

本年度の四月より事務員として働いています。以前は、福岡県にある知的障がい者施設で働いていました。事務員としての仕事は、まだまだ不慣れですので一生懸命頑張っていこうと思います。これまでの経験を活かせる場面では充分に力を発揮し、これまでの考え方に固執せず、柔軟な考え方で物事に取り組んでいきたいと考えています。

　私の現在の気持ちと掛けまして、風船と解く。その心は、きたい（期待・気体）で膨らんでいます。どうぞ、よろしくお願いします。

ケア課　井上　靖啓

　四月から愛隣館で働いています。井上靖啓（やすひろ）と申します。山鹿市南島から車で通勤しています。

　熊本ＹＭＣＡ学院に在学していた時には実習で色々な事を学ばせて頂きました。これからは学校や実習で学んだ事をより活かし、利用者の方の生活をお手伝いできるようにがんばりたいと思います。

　三ヶ月が経ち、みなさんからたくさんの声をかけて頂いたり、仕事について教えてもらいとても楽しく過ごしています。もっと仕事やみなさんの事を知り、いつも笑顔で過ごしていきたいです。

　まだまだ分からない事ばかりですが色々な事を経験し、みなさんの仲間に入れて頂けたらうれしいです。どうぞよろしくお願いします。

クローズアップ愛隣館⑥

食生活課　古江　ナオミ

　昭和六十三年の創設以来、調理員としてお世話になり二十六年目になります。

　利用者の方々のお好みに合うようにと、味付け・盛り付けなどにも工夫してきたつもりですが、如何でしたでしょうか。時には、辛口の檄を飛ばされることが何度もありましたが、「美味しかったよー」と、言って頂いた時はホッとし、「また頑張ろう！」と、励みになりました。

　そのほか、利用者の方々との一泊旅行等、九州圏内、家族では行けないような所へもいっぱい連れて行ってもらいました。旅先では色々なハプニング等もありましたね。どれも楽しい思い出の旅でした。

　また、地元では長年体育指導の役員を務めておりますが、愛隣館の職員さんと毎週練習するビーチバレーボールは楽しみのひとつです。昨年は、小学生の孫を連れて山登りにも参加しました。

　厨房のみんなにもご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお世話にならせていただけたら幸いに思います。頑張ります。

家族の声⑦

愛隣倶楽部利用者　大坂　恭子　母

大坂　国子

「ささやかな成長」

　娘、恭子が愛隣倶楽部にお世話になるようになって早十二年目となりました。見た目にはまだまだ小学生のようですが、娘は今年八月で三十歳となります。

　愛隣倶楽部には、娘がまだ幼かった頃から親子共々お世話になっている方々や、通所するようになって知り合えた利用者の方々や、ご家族の皆さんがいらっしゃることで、家族としても安心して通わせることが出来ています。

　職員の方々には、手厚く支援して頂いており、特に最近、娘の体の動きがしっかりとし意思表示も出てきたように感じています。

　これからも日々の生活の中で感じることのできる「ささやかな成長」を楽しみにしています。

　今後ともよろしくお願いいたします。

震災復興支援シャツ等協力事業

東日本大震災の被災地に居住する、障害のある人々、子ども達、難病の人々、及び、その支援を行なう人々、及び、機関に支援金を送るため、地域と福祉施設のネットワークを生かした継続支援活動を行ないます。

障害者の就労事業所等で制作する支援ポロシャツ、ベスト、エプロン等を販売し、売り上げ一枚につき500円（ワンコイン）、ポストカード500円（五枚一組）は一部につき50円の支援協力金を集めます。

（九州障害者支援施設協議会・震災復興支援事業）

支援ポロシャツ、ベスト、エプロン等の詳細、及び、ご注文受付表は、愛隣館ホームページ『あいりんの風』でご覧いただけます。

ホームページアドレス　http://aileans.com

山鹿コールエイト 熊日緑のリボン賞を受賞

この度、山鹿市の女性コーラスグループ「山鹿コールエイト」の皆さんが、熊本日日新聞社主催の『熊日緑のリボン賞』（地域で奉仕活動を続け、社会貢献してきた人たちを称える）を受賞されました。

毎週水曜日にある音楽クラブの練習で、いつも寄り添い支え続けてこられたみなさん、音楽祭や夏祭り、クリスマス会での発表等、施設内外の活動も一緒に参加し、盛り上げていただきました。

これまでのご功績に、深くお礼と感謝を致しますと共に、受賞を心よりお喜び申し上げます。

七月六日（土）に、熊日本社にて授与式が執り行われました。

おめでとうございます。

田中鉄也写真展のお知らせ

テーマを「縁」（えん）とした、私の撮影した写真の個展を、豊前街道沿いの古民家ギャラリー百花堂で催します。

期間は八月十五日から二十一日の、十一時から十七時（十五日、十六日は二十一時まで）になっています。

初めての個展が今からとても楽しみです。私の身の回りの大好きな人たちや、自然をたくさん展示する予定です。ぜひ見に来て下さい。

これからも楽しみながら写真の趣味を続けていって、誰かの心を少しでも感動させられるような写真を撮れたらなあと思っています。

ぴあハウス住人　田中　鉄也

主催：山鹿湯の端美術会
後援：山鹿市／山鹿市教育委員会

編集後記

本格的な夏目前の熊本。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？
あいめーる夏号、今回は、アクティビティ（日中活動）特集です。
掲載した活動の他にも、数々の日中活動がございますが、紙面の都合上割愛させて頂きました。